

第7回理事会議事録

議事録作成者：専務理事 三浦重則

- 1 日 時：令和2年10月13日（火）10時～12時
- 2 場 所：公益社団法人日本パワーリフティング協会 本部事務局
〒678-0239 兵庫県赤穂市加里屋98-16
- 3 出席者：【理事】古城 資久 伊差川浩之 三浦 重則 太田 勇吉 高井 隆義
(敬称略、以下同様)
※理事総数：5名、本日の出席理事5名
【監事】辻 恵 安原 徹
※監事総数：2名、本日の出席監事2名
【陪席】松谷 昌典（事務局長）
理事の伊差川浩之、三浦重則、太田勇吉、高井隆義、監事の辻恵、安原徹はテレビ会議システム等を利用する事によりこの会議に出席し、質疑・決議を行った。
- 4 開 会 定刻通り、代表理事古城資久が席につき、テレビ会議システムにより出席者の音声・映像の伝達がスムーズであり、質疑応答に支障がない事を確認し、定足数を充足していることから本理事会の成立を宣言した。また、本理事会は一般法人法94条2項（197条において準用する同法94条2項）に基づき、理事及び監事全員の同意を得て、招集手続きの省略により招集されたものである。
- 5 議 長 古城 資久
- 6 議 事
第1号議案 「利益相反ポリシー」の承認
スポーツ庁ガバナンスコード準拠を目指し、顧問弁護士と共に「利益相反ポリシー」の策定を行なった。審議の結果、「利益相反ポリシー」原案は出席理事全員一致で承認された。

第2号議案 I P Fルール変更について

国際パワーリフティング連盟のルール変更に対し、2021年1月より国内大会についても適応させるため、技術委員会より対応策を記述した素案が提出された。審議の過程において以下の点が適用されることとなった。

- ①女子の階級変更に伴う出場資格について、新たに設定される69kg級及び76kg級について、出場のための標準記録を設定することとした。69kg級の標準記録は63kgと同重量、76kg級は72kg級と同重量に設定し、新階級選手の出場機会確保に努めることとした。
 - ②国際派遣に際し、やむなく書類選考とする場合、IPFポイントを使用して選考することとした。69kg級の選考は72kg級から、76kg級は72kg級及び84kg級からそれぞれ希望者を募り、点数の上位者を派遣対象とするものである。
 - ③その他、素案の通りとする。
- 審議の結果、出席理事全員一致で承認された。

第3号議案 経済産業省給付金について

申請中の給付金について、JPA事業費に当てるべく、徳島県で開催されるジャパンクラシックベンチ及び福岡県で開催される全日本ベンチに配当することが会場に諮られた。なお、支払基準は日本スポーツ振興センター「助成対象経費の基準等」を適用する。審議の結果、原案は出席理事全員一致で承認された。

第4号議案 2021年度のJPA主催大会について

コロナ禍で国際大会が変動、国内大会の開催時期及び主管協会決定について困難をきわめているが、2021年度の主催大会を設定する時期が到来している。引き続き組織委員長を中心に、主管候補地へ開催を打診することとした。開催地については、結論が得られ次第理事会承認することとなった。

その他議案等

(1) 全国大会出場のための推薦枠について

本年9月14日理事会において、B標準について決議がなされた。関連する技術委員会通達の推薦枠について説明する文面を整理する必要が生じた。推薦枠を使用するためにはB標準を突破している必要があり、都道府県大会優勝者もしくはブロック大会3位以内が条件である。

(2) 国際大会参加標準記録について

- 1) 全国大会出場標準向上に伴い、JPAが定める国際大会参加標準記録について、今後必要か否かが議場に諮られた。審議の結果、国際大会出

場のための国際標準について、撤廃することが出席理事全員一致で承認された。

- 2) 国際大会派遣選手選考基準に定める選考大会での入賞基準について、アジア大会4位以内、世界大会(マスターズ除く)3位以内の定めがある。この定めについても必要性が議場に諮られた。審議の結果、出席理事全員一致で必要性がないことが確認され、撤廃すること承認された。今後は国際大会出場枠がみたまされるまで選手選考を行うものとし、関連する規程類について見直しを行うものとする。

(3) 全日本学生大会とジュニア選手権について

全日本学生大会にジュニア大会を併催しているが、コロナ禍における学校園開催の全国的イベントについて、社会人が混在した場合、許可が出にくい状況にあること報告がなされた。検討した結果、ジュニア大会については、本年12月19日至20日兵庫県で開催するサブジュニア・マスターズクラシックパワー大会と併催することとなった。議場に諮ったところ、本案は出席理事全員一致で承認された。

(4) 高校生・大学生の標準記録について

コロナ影響により、高校生及び大学生が出場できる学校園の大会が満足に開催されておらず、特に本年度入学した1年生が標準記録を取得できず、全国大会へ出場できなくなっている現状が報告された。検討した結果、高校生・大学生に限り、高校連盟及び学生連盟所定の推薦をもって全国大会エントリーを可能とすることが提案された。審議の結果、本案は出席理事全員一致で承認された。

(5) 徳島クラシックベンチ出場要件の緩和について(追認)

コロナ禍で満足に大会開催ができておらず、標準記録を取得できていない選手について、徳島クラシックベンチに限り緩和措置が認められることとなった。本来、エントリーまでに標準記録を突破することが条件であるが、徳島大会直前に他の公認大会が企画されており、当該大会で取得できれば徳島大会の参加要件として認めるものである。審議の結果、緩和措置案について出席理事全員一致で承認された。

以上をもって議案の全部を終了したので、古城資久代表理事は12時に閉会を宣した。上記の議決を明確にするため、代表理事及び監事が次に署名する。

令和2年10月13日 公益社団法人日本パワーリフティング協会理事会

代表理事 古城資久 

監事 辻 恵 

監事 安原 徹 